

接地SPD盤

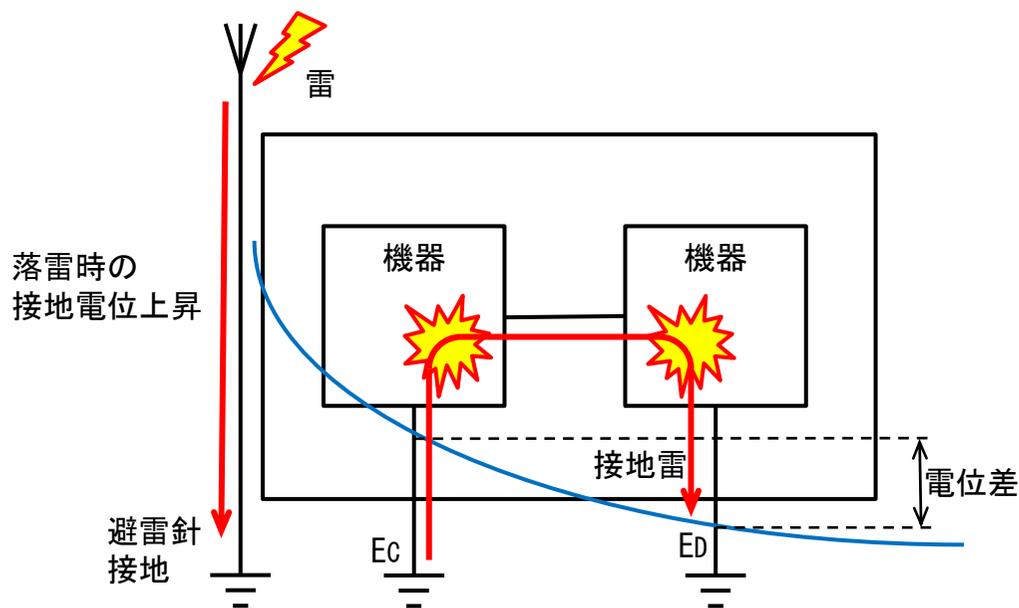
接地SPD盤

- ・ 接地端子台と接地用SPDを組合せた接地端子盤
- ・ 樹脂キャビネットにより軽量で施工が容易
- ・ 接地設計に合わせた組合せが可能



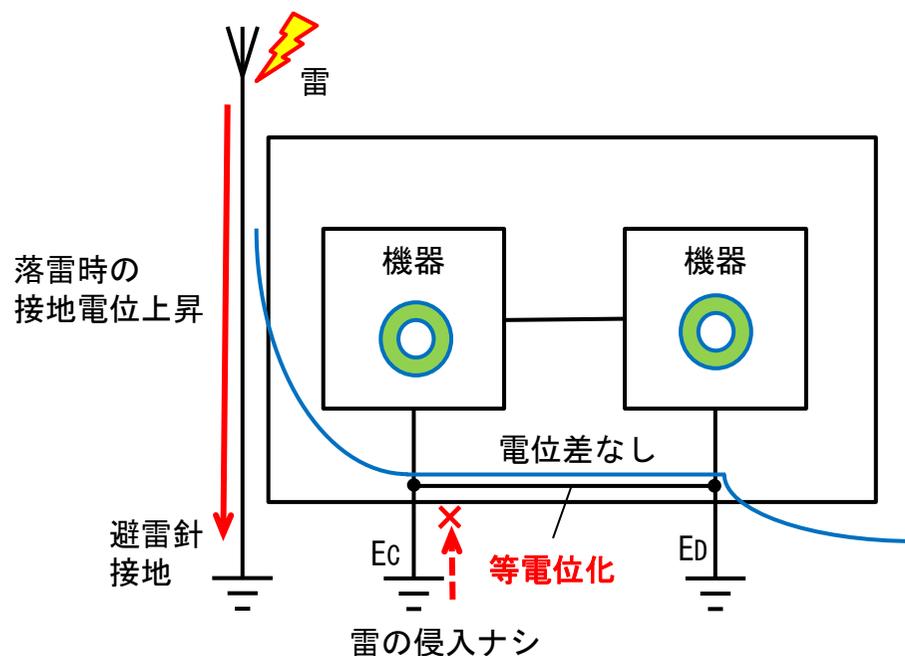
等電位化の必要性

- ・ 落雷時に接地極に雷電流が流れると電位が上昇
- ・ 異なる接地極間に電位差が発生
- ・ 電位差により接地から雷サージが侵入する



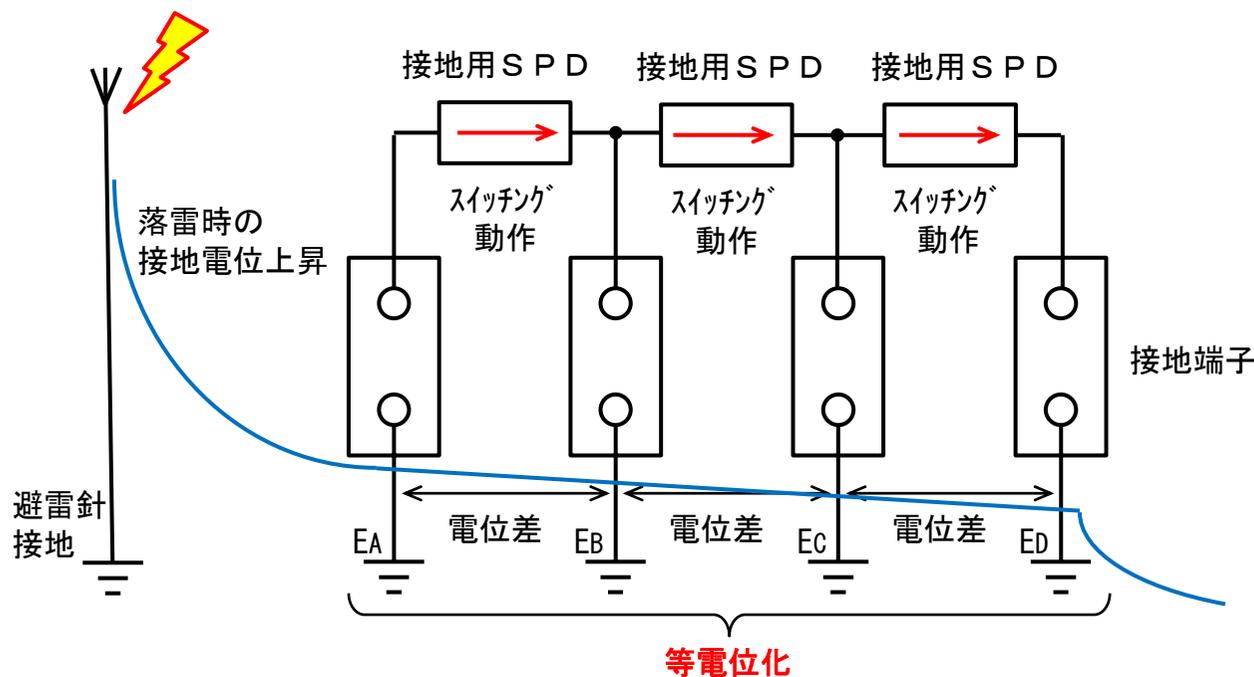
等電位化の必要性

- ・ 接地間を繋ぐことにより等電位化する
- ・ 異なる接地極間の電位差は無し
- ・ 接地からの雷サージの侵入が無くなる



接地用SPDによる等電位化

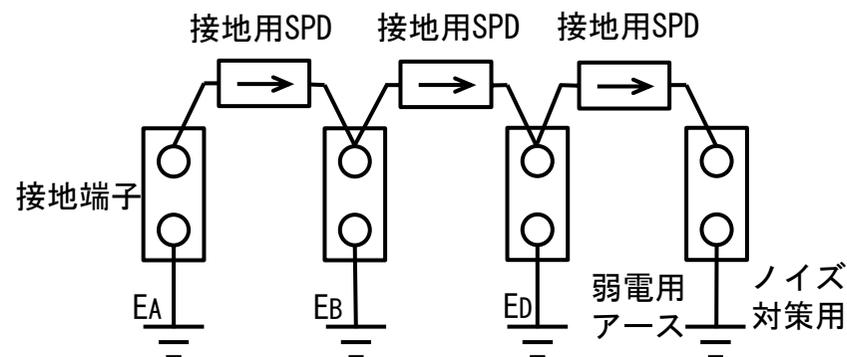
- ・ 雷対策には設備の接地を等電位化する事が有効
- ・ 接地の機能によりそれぞれを繋ぐ事ができない
- ・ 異なる接地を落雷時のみ等電位化する



接地用SPD構成

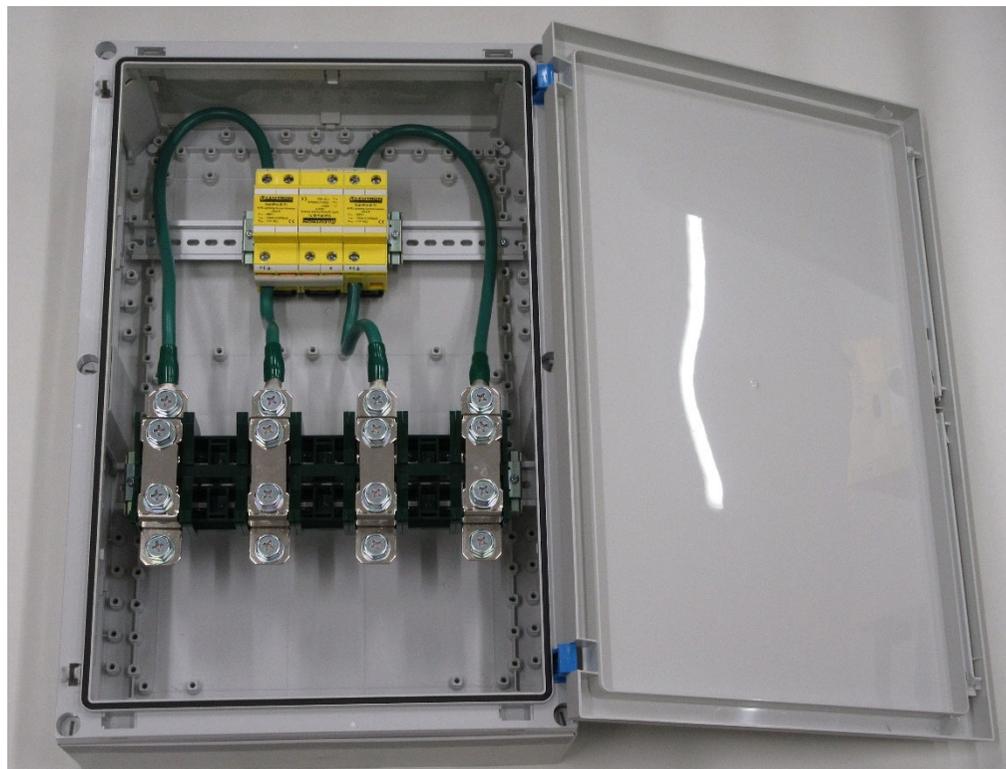
- Class I SPDを使用
- 現場の接地構成に合わせた組合せ
- 接地用SPDを後付けできる（接地用SPD盤）

例)



接地SPD盤

- ・ SPD内蔵の接地端子箱
- ・ 接地線は60mm²まで



接地端子盤（SPD付）と接地端子箱

- 接地端子盤（SPD付）
SPDと接続用端子台を
収納し既存設備に付加
- 接地端子箱
SPD盤と組合せ可能
接地線は100mm²まで

※すべての盤において
カスタム可能

